基礎ゼミナール	アカデミック・リテラシー入門

［講義・演習］　第１学年　前期　選択
2単位

《履修上の留意事項》この授業は講義と演習からなる。講義は看護福祉合同で行い、演習はクラスに分かれて行う。初回のガイダンスにおいて授業の予定と自分のクラスをよく確認すること。
また、この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行う。

《担当者名》〇井上　貴翔（ikisho@hoku-iryo-u.ac.jp）　薄井　明　金盛　直茂　鎌田　禎子　花渕　馨也　福家　健宗　山田　桃子（ﾘﾊ）

【概　要】
大学における学びとは、高度な知識や技術を受動的に学習するだけでなく、自ら問いを発見し、情報を調べ、分析し、考察する能動的な知の探究である。この授業では、大学における主体的学習を行うための基礎的な学習方法・能力であるアカデミック・リテラシーを修得する。

【学修目標】
・大学における基礎的な学習方法・能力（アカデミック・リテラシー）を身につける
・日本語の基礎能力（聴く、読む、書く、話す）を修得する
・自ら情報を収集し、整理し、分析し、まとめるための自主的学習スキルを修得する
・グループでの協調性、コミュニケーション能力、ディスカッション能力を修得する
・レポートの作成方法を修得する
・プレゼンテーションの方法を修得する
・学習のセルフマネジメント能力を修得する

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	・授業の目的と内容の説明 ・アカデミック・リテラシーと自主的探究 ・日本語能力テスト①	井上・花渕
2	ポートフォリオ作成	・ポートフォリオ記入１：目標・計画 ・学習方法についてのグループワーク	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田
3	グループ発表計画	・グループ発表の計画立案 ・情報収集の方法	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田
4	情報の収集と整理	・情報の検索、収集、分類 ・日本語能力テスト②	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田
5	論証の基本	・事実に基づいた根拠と主張およびその繋ぎ方	井上
6	文章読解と要約	・重要箇所の探し方、接続語の働き ・パラグラフリーディング／ライティング ・要約の基本	井上
7	グループ発表準備	・グループ発表の原稿と資料の作成、リハーサル ・日本語能力テスト③	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田
8	グループ発表	・グループ発表 ・発表のピア評価・講評 ・ポートフォリオの記入２：学習のふり返り	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田
9	授業のふり返り	・グループ学習：ノート確認、試験準備 ・レポート課題の説明	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田
10	レポートの基本	・課題の把握からアウトラインまで ・日本語能力テスト④	井上
11	レポートの構成	・三段構成を基本としたレポートの構成	井上

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・ルーブリック評価表を用いた確認方法	
12	レポートでの引用	・レポートにおける引用、出典の示し方	井上
13	レポートの完成	・レポートの推敲 ・レポートのピア評価 ・ルーブリック評価表による確認　→　提出	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田
14	授業のふり返り	・グループ学習：ノート確認、試験準備 ・日本語能力最終テスト⑤	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田
15	全体のまとめ	・レポートの講評 ・学習のセルフマネジメント ・ポートフォリオの記入３：全体評価	井上、薄井、金盛、鎌田、花渕、福家、山田

【授業実施形態】
面接授業
<u>※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による</u>

【評価方法】
・学習態度　15％
・日本語能力テスト　25%
・グループ発表貢献度　30％
・レポート　30%

【教科書】
井上貴翔他『大学生のための論文・レポート作成法　第2版』学術図書出版社、2020年

【参考書】
なし

【学修の準備】
予習：授業において課された課題をやってくる（80分）
復習：授業のふり返りを行い、重要なポイントを整理しておく（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】
DP２、DP３